

令和８年度 上京区地域保健推進協議会 概要

日 時 令和８年９月１７日（木）午後２時から午後３時３０分
場 所 上京区総合庁舎 ４階大会議室
出席委員 任委員、金光委員、佐藤委員、中川委員、石野委員、
小川委員、藤木委員、和田委員、立原委員、湯浅委員
傍聴人 ３名

<開会挨拶>西尾保健センター長

<議題（１）上京保健センター事業について>

- ・健康づくり事業・感染症について（健康長寿推進課 荒木担当課長）
- ・精神保健福祉・難病保健事業について（障害保健福祉課 小西課長）
- ・母子保健福祉事業について（子どもはぐくみ室 浅堀課長）
- ・保健福祉センターが一体となった総合的な取組について（健康長寿推進課 門司課長）

<議題（２）意見交換>

和田委員：

事業説明を聞き、区役所内外での連携や協働が進む中で、相談がしやすく、問題解決に向けて動きのいい区役所になっていくことを期待している。

任委員：

保健センターの多岐にわたる取組に敬意を払う。

上京区は高齢者単身世帯が増えており、出生率も極めて低く、人口の構成が急速に変わってくる。医師会としても、新規開業が増えにくく、医師の高齢化が進むと想定される中で、地域福祉を守るために、今まで以上に行政と各方面でしっかり連携を取らなくてはならない。具体的にどうしていきべきなのか、答えがなかなか見つかるものではないが、今後の努力課題と感じている。

金光委員：

毎年のことであるが、多方面にわたる事業展開をされていて敬意を払う。

病気になってから医療機関が関わり始めることが多いが、生活習慣病については予防が非常に大切であり、また、がんに関しては、検診で早期発見、早期治療が非常に重要であり、保健センターはそこに重点を置いて啓発に取り組んでいる。また、高齢化や出生率の低下に向けての取組や、問題を抱えている方に対しての対応にも注力していただきたい。

京都市保健所運営協議会に区の代表委員として出席している。同会では、特定健康診査について小学校での再開を望む意見が複数区から聞かれた。また、感染予防ワクチンの周知について、医療機関も依頼を受けているものの、接種対象者が来院することが少なく、直接的な周知は難しい状況にあったが、同会の委員には理容師や美容師の組合が入っており、理美容室での周知協力を行うとの話になった。

京都市は京都市全体としての取組を、上京保健センターでは引き続き事業を展開してもらい、我々も含め皆が一層連携して取り組んでいくことで、良い区にしていきたいと思う。